

## 質疑応答（要旨）

### Q. ノルウェー養殖事業について、どのような施策を行っていますか？

- A. 一 鮭鱒相場は戻りつつあり、夏頃には単月黒字化を見込んでいます。コロナで厳しい環境が続いていますが、ワクチン接種が進めば、サーモンの需要は普遍的に存在するため回復すると思います。当社の施策としては、コスト増加の要因となったシーライス（寄生虫）対策として、個々の生簀を距離の離れたロケーションに移動させることに取り掛かっています。2022 年度には作業を完了する予定です。これによるコスト減少と相場環境の回復によって、売上、利益ともに回復すると想定しています。

### Q. コロナの影響について教えてください

#### A. 一 冷蔵倉庫事業

前期はコロナの影響で荷動きが止まり、在庫過多の状態から保管料収入が増えましたが、各社在庫調整を進めましたので、在庫は減少しました。当社は輸入された貨物を保管する冷蔵倉庫が多く、海上コンテナ不足も在庫減少の大きな要因となりました。

今後はワクチン接種の進行によりゆるやかに在庫量も回復するものと思っています。

貨物状況は2月以降回復傾向です。入出庫量も回復しているため、在庫水準も通常の水準に回復するのではと思っています。

#### A. 一 食品販売事業

国内販売事業は2020年10月～12月はGo Toキャンペーン等で取引が増加し好調でしたが、2021年1月以降は緊急事態宣言が再発令され動きが悪化しました。しかし、昨年より進めている構造改革により相場リスクの高い在庫を抑え、回転重視の販売を進めているため、現状マイナスは出ていません。緊急事態宣言明けには、需要も回復してくると見込んでいます。

また、新しい施策として7月には、気仙沼で水産品の選別・凍結を行う新たな拠点がスタートし、8月には長崎県平戸にて当社初の製氷事業がスタートします。その他施策もあり、下期、特に来期以降にはそれらの取り組みが事業に寄与できると期待しています。

### Q. 冷蔵倉庫は高い保管品質をお持ちですが、ワクチン等食品以外に展開の余地はありますか？

- A. 一 食品以外にもケミカル・薬品等の保管もありますが、まずはそれらの冷凍冷蔵保管への需要がどれほどあるのかがリサーチが必要です。また、医薬品関係に関しては、専用の設備を整えなければなりません。

食品以外にも目を向ける必要があり、今後の展開を考えていかなければならないと思っています。

中計においても新たな事業への取り組みを模索中で、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

### Q. ESG 経営について教えてください。グリーン電力や自然冷媒の活用を打ち出していると思います。営業活動や受注など実際のビジネスにおいて、好影響は出ていますか？今後、大きなビジネスチャンスになるのでしょうか？現在の見通しを教えてください

- A. 一 強みとして営業ツールに活用し、環境経営に取り組んでいる企業に営業をかけるためにもアピールをしなければいけないと考え、行動しています。